

平成29年度 事業報告書

2017年(平成29年)4月1日～2018年(平成30年)3月31日

特定非営利活動法人吉備野工房ちみち

1. 事業の成果

- ・Well-Beingプログラムとしてのプロトタイピングは完了。参加人数こそ少なかったものの、宿泊型プログラムとして実行可能なプログラムができあがり、ファシリテートの進行についても形がくことができた。『課題』自主事業として実行中のため、活動資金が不足していることが課題。研修担当者の人件費捻出や広報活動実行にかかる資金について目途が立たず、理事内では何度も話し合いながらの事業継続となった。広報資金も最小限に抑え、SNS中心とした集客中心で集客は難航した。今年度も、助成による援助などは今の時点では予定がないため、広報活動も引き続き最小限に抑えたうえで、ターゲットの練り直しや他事業との連携を図ることなどにより、認知アップを長期的視点で図っていく。また、参加したいが、時間がとりにくいといった要望があるため、新年度からは、二泊三日形式から、一泊二日形式への変更を行い、告知広報を行っていく。
- ・JICA研修を通して、地域資源を使ったコミュニティベーストアントレプレナーシップの育成が出
- ・国土交通省岡山事務所と協働で、総社市中心市街地を中心に、構造物長寿命化に向けた市民参加型の点検システムの構築をLINEなどのSNSを使って散歩がてら肩の力を抜いて点検できる仕組みを地域住民と試行錯誤を重ねて構築していった。29年度の課題は、位置情報が的確に写真と一致させること、点検結果の情報共有の方法などが課題として残ったので30年度に課題を解決して本格始動
- ・第1回Well-Beingフェスを世界幸福デーに合わせて開催した。Well-Beingとは身体も心も経済的にも幸福を感じることが幸せの定義として発信することを目的に、美や健康に関するセミナー や、ヒーリングや身体に良い食事を提供して、参加者と共に幸せとは何かをテーマに対話の場を設けた。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	事業内容	事業日・期間	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1. まちづくりに関するプロデュース事業						
JICA研修	中南米、アジア、アフリカの行政官を対象に2泊3日のみちくさ小道プログラムを体験し、地域資源を生かしたコミュニティベースト・アントレプレナーシップ養成を行う。	H29月5月～H30年2月	総社市	2名	一般 45人	1,200
インターンシップ事業 (大学生)	みちくさ小道の理解と実践を通して、人や社会との繋がり等の学びの場を提供。	H29年1月～29年3月	総社市	12人	会員・一般 31人	100

総社地区道路施設点検作業	岡山国道事務所管内の180号線を中心に半径1kmの範囲を構造物の点検を行う。	平成28年9～平成29年3月	総社市	3人	一般90人	9,900
--------------	--	----------------	-----	----	-------	-------

東北復興支援事業	人と心と繋がる組織づくり（東北支援）	1回	岩手県	2人	一般30人	900
----------	--------------------	----	-----	----	-------	-----

2. まちづくりに関するイベント・セミナー事業

Well-Beingリトリート	2泊3日日常から離れて自分自身の内側を反省し、仲間と対話する中で本来に自分に気づいていく宿泊研修	5回	岡山市	10人	一般15人	200
Well-Beingフェス夕	3月国連が定めた幸福デーにちなんで3月21日に工房で心も身体も経済的に幸せになるセミナーを開催した	1回	総社市	7人	会員・一般30人	30
県立大学研修事業	まちづくり講演会及びみちくさ小道体験研修会	1	総社市	1人	学生20人	50

3. まちづくりに関する情報発信事業

HPやフェイスブックで条坊発信	HPやフェイスブックを通して、地域活動を支援する	通年	総社市、他	2名	会員・一般100人	30
-----------------	--------------------------	----	-------	----	-----------	----

4. まちづくりを推進する商品開発事業

雪舟の涙	宝福寺限定販売品の販売	通年	事務所、他	2人	100人	30
ちみち☆交流会	ゲストスピーカーや、参加者との出会いと親交を深める場の提供	通年	事務所	10人	会員・一般30人	10